

小樽建設管理部

事業一覧および事業箇所図は小樽建設管理部の社会資本整備に関する説明責任（アカウントビリティ）のページにて公表します。（6月公表予定）
<https://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/okk/TT/128326.html>



こちらのQRコードからアクセスできます。

小樽建設管理部の概要

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

《概要》

小樽建設管理部管内では、道内唯一の原子力発電所である泊原発がありますが、これの災害時における円滑な避難のため整備中である道道泊共和線について、令和5年度の完成を目指し工事を推進します。

また、世界的に有名な観光地である、倶知安・ニセコ地区へのアクセス向上を図ると共に、果物をはじめとした、地場産業の発展に寄与する物流ネットワークの強化のため、道道小樽環状線などの整備を推進します。

このほか、自然災害に強い交通ネットワークを確立するため、道道小樽定山溪線の地すべり対策や、岩内洞爺線ニセコ大橋の耐震補強、道道古平神恵内線などで橋梁補修を実施するなど、安全で円滑な道路通行を確保します。

街路事業では、余市ICへのアクセス向上及び、国道5号など、周辺道路の混雑緩和のため、余市町の都市計画道路3・4・5黒川線について、工事を推進します。

河川事業では、住民の生命や財産を洪水から守るため、堀株川、尻別川、余市川などで流下能力が不足している箇所の河道掘削などの整備を進めるとともに、昨年に引き続き、減災対策協議会の場を通じて現状の水害リスク情報や河川の整備状況等を共有するなど、市町村との連携強化を図りながら、減災対策に取り組みます。

砂防急傾斜事業では、土砂災害警戒区域に指定されている泊村の泊16などの急傾斜地崩壊対策工を実施するとともに、珊内川や太田の沢川の砂防えん堤の整備を進めます。

また、近年全国的に大雨などによる崖崩れや土石流などの土砂災害が頻発していますが、急峻な地形により多くの危険箇所が存在している当建管では、土砂災害防止法に基づく基礎調査を令和元年までにすべて完了させており、今年度は未指定となっている土砂災害警戒区域等の早期指定を推進してまいります。

漁港事業では低気圧や台風等による高潮・波高の増大等に対する漁港の安全を図るため、盃漁港で外郭施設の整備を進めるとともに、多くの施設が老朽化してきているため、施設機能の保全対策を進め長寿命化を図ります。

泊共和線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido, Expanding Horizons.

一般道道泊共和線は、泊村大字茅沼村の国道229号側を起点とし、共和町国富の国道5号に至る延長約18kmの幹線道路です。北電泊発電所周辺地区の地震・津波災害などの自然災害と原子力災害の複合災害による道路の寸断や避難車両による混雑を考慮して、多数の住民の迅速かつ確実な避難、また救助・救援活動や救援物資輸送が早期に可能となるよう、行き止まり道路の解消及び避難道路複線化のため、新たな道路を整備し、地域住民の安全・安心の確保を図ります。

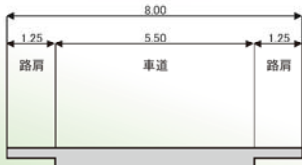
《事業概要》

事業延長 : L=16.1km
 事業期間 : 平成25年度～令和5年度(予定)
 全体事業費 : 約334億円
 事業内容 : 道路工、トンネル、橋梁など

《位置図》



《標準断面図》



国道229号の代替機能を確保する等、道路寸断による孤立化を防ぐ。

孤立防止

津波浸水により通行止めの恐れが高い

津波浸水想定区域

《整備効果》

より安全な避難動線の確保

国道5号への避難経路を複数確保



凡例
 津波浸水想定区域
 津波浸水想定区間
 行き止まり通行止め泊発電所

《茅沼1号トンネル》



《茅沼1号橋》



《国富工区》



小樽環状線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido, Expanding Horizons.

一般道道小樽環状線は、小樽市塩谷を起点とし小樽市新光に至る全長13.1kmの路線であり、小樽市内の環状機能を担うとともに小樽市と周辺町村を結ぶ地域の産業、生活を支える幹線道路です。

当該事業は交通事故の危険性の高い急勾配・急カーブの連続する隘路区間を解消し、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、北海道横断自動車道小樽塩谷ICへのアクセス改善により、小樽市と周辺町村との地域連携の強化を図ります。

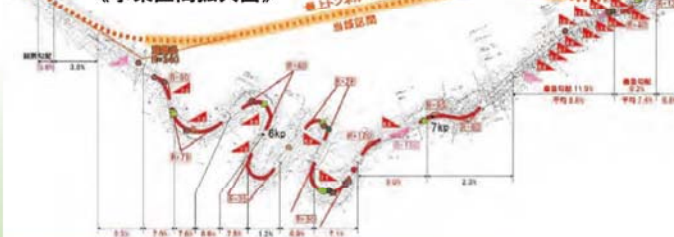
《事業概要》

事業延長 : L=1.82km
 事業期間 : 平成24年度～令和8年度(予定)
 全体事業費 : 約7.62億円
 事業内容 : 道路工、トンネル新設、橋梁拡幅など

《位置図》



《事業区間拡大図》



《現在の交通状況写真》



現在の道路は勾配6%を越えかつ急カーブが連続しており、直近15年間で20件の事故が発生し、歩行者の被害も発生しています。
 トンネルを含めたバイパスルートにより急勾配および連続急カーブ区間を回避できるため、車両事故および歩行者の被害減少が期待できるとともに、救急搬送の時間を短縮できるようになります。

《期待する効果》

1. 連続急カーブ区間の解消による安全性の向上。
2. 救急搬送時間の減少。
3. 北海道横断自動車道 小樽塩谷ICへのアクセス改善。

登余市停車場線 道路拡幅事業<都市計画道路 黒川線>

小樽建設管理部
街路事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

黒川線は、黒川通(一般道登余市停車場線)と大川橋線(国道5号)を南北に結ぶ余市町の都市計画道路であり、主要交通軸を支える生活軸として都市計画マスタープランに位置づけられた、町民の生活・産業の利便性向上、災害時の避難動線として重要な路線です。

市街地から北海道横断自動車道余市ICへのアクセスを強化するとともに、通学路でありながら未整備である歩道を整備することにより、児童や生徒の通学時の安全性向上を図ります。

《事業概要》

事業延長 : L=1.02km
事業期間 : 令和5年度~令和13年度(予定)
全体事業費 : 約18億円
事業内容 : 道路工・橋梁工

《位置図》



《写真》



《整備効果》



余市川 広域河川改修事業

小樽建設管理部
河川事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

余市川では、昭和31年8月の台風9号などの洪水による被災を受けて、同年から河川改修に着手してきたところですが、昭和50年の低気圧に伴う豪雨によって、再度大規模な洪水被害が発生しました。

当該事業では、堤防の新設及び河道の掘削等、抜本的な河川改修を行い、市街地や道内有数の果樹栽培地域を洪水氾濫から守ります。

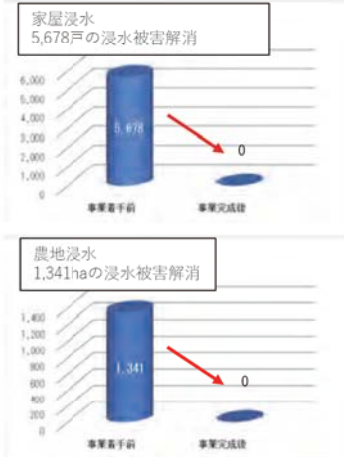
《事業概要》

事業延長 : L=30.6km
事業期間 : 昭和31年度~令和20年度(予定)
全体事業費 : 約363億円
事業内容 : 築堤工、掘削工、護岸工、樋門工など

《位置図》



《改修事業の整備効果》



《改修事業の整備状況》



ほりかつぶがわ

堀株川 広域河川改修事業

その先の、道へ。北海道



小樽建設管理部
河川事業

Hokkaido, Expanding Horizons.

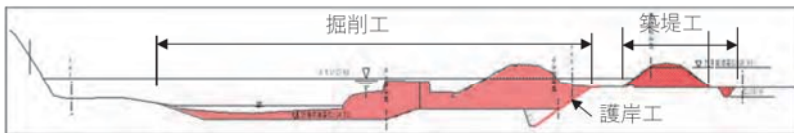
堀株川では、昭和36年の豪雨、昭和37年の台風9号による家屋流出・浸水など、多大な被害が発生したことを契機に、昭和41年度から11.2kmの区間で改修を行ってきましたが、平成9年及び10年に連続して出水したため、周辺地域に対する治水安全度を向上させる必要性が生じました。

当該事業では、改修区間を延伸して河道掘削や堤防設置を行い、流域内の住民や農地、「泊原発周辺地域原子力防災計画」において避難路として位置付けられている道路を洪水氾濫から守ります。

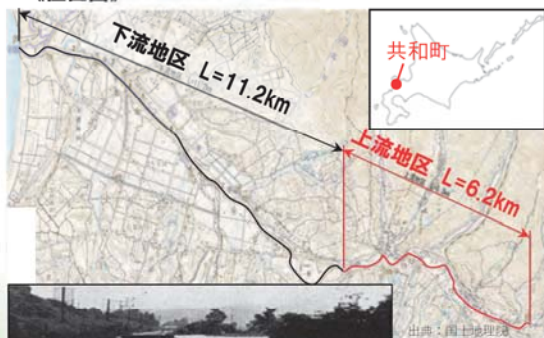
《事業概要》

事業延長 : L=17.4km
事業期間 : 昭和41年度～令和10年度(予定)
全体事業費 : 約214億円
事業内容 : 築堤工、掘削工、護岸工、樋門工など

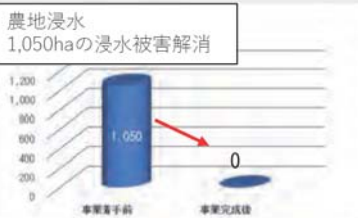
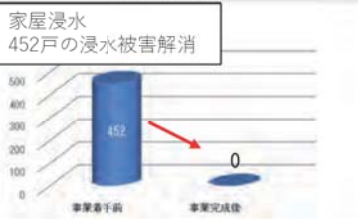
《横断面図》



《位置図》



《改修事業の整備効果》



《改修事業の整備状況》



さかすき

盃漁港 漁港施設機能強化事業

その先の、道へ。北海道



小樽建設管理部
漁港事業

Hokkaido, Expanding Horizons.

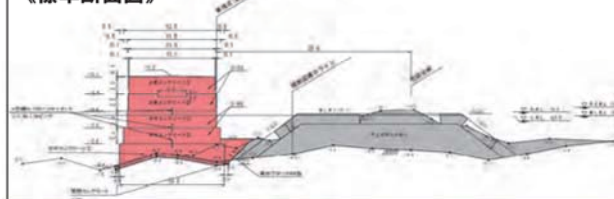
盃漁港は近年の波高増大に伴う港内静穏の悪化により、漁船の損傷、頻繁な見回り作業、岸壁からの越水による漁具の流出など、危険かつ厳しい漁労活動を余儀なくされています。

そのため、西外防波堤の整備により港内静穏を向上し、漁港利用者の安全確保と、漁業活動の効率化を図ります。

《事業概要》

事業延長 : 西外防波堤 L=30.0m
事業期間 : 令和4年度～令和7年度
全体事業費 : 約6億円

《標準断面図》



《位置図・平面図》



《整備効果》

- ・ 荒天時警戒係留作業、漁具資材移動作業、清掃作業回数の削減
- ・ 荒天時巡視日数の削減
- ・ 漁船耐用年数の延長
- ・ 係留索耐用年数の延長

《航空写真》



《港内静穏悪化状況》



《岸壁越水状況》



《漁船損傷・転覆状況》

